

与那原町へ沖縄県立郷土芸能会館を！



与那原町長 古 堅 國 雄

本町は戦前、山原船や軽便鉄道の拠点として栄え、本島東における交通の要衝でありました。また、首里王府の影響を多く受けた地域として商業・芸能・文化が発達し、琉球古典音楽家の宮城嗣長、仲泊兼蒲、宮城嗣周によって、現在の古典音楽の基礎が築かれました。さらに、沖縄歌劇の巨星と言われた伊良波尹吉など偉大な先人たちの輩出し、沖縄芝居の常設小屋もあったこともあり、現在活躍している多くの芸能関係者も与那原町から巣立っております。

このような歴史を刻んできた本町へ、現在沖縄県が建設を検討しております「沖縄県立郷土芸能会館（仮称）」を誘致するため、沖縄県立郷土芸能会館（仮称）誘致与那原町実行委員会を立ち上げ、沖縄県知事への誘致要請を行ったところです。

今後、あらゆる機会を通じて『与那原町へ沖縄県立郷土芸能会館を誘致しよう！』をスローガンに誘致活動を行い、与那原町への誘致実現に取り組んでまいりますので、町民皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。